

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	教育委員会 文化スポーツ課	関連部課名	
---------------------	-------	------------------	-------	--

基本目標 **こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり【教育・文化】**

施策名 **生涯学習**

誰もが気軽に生涯学習活動を楽しみ、地域を担う人づくりを進めるために、生涯学習ニーズの把握や活動の応援体制の強化、活動拠点及び学習機会の充実、学校や地域・各種団体との連携を通じた特色ある生涯学習活動などの取組を推進します。

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

- 地域に根ざした生涯学習活動がまちづくりへと広がっています。
- 生涯学習ニーズの把握と活動の応援体制により、だれもが生涯学習活動の第一歩を踏み出しています。

◆具体化した施策の取り組み実績

1 自発的な生涯学習活動の推進

項目	平成25年度実績				平成26年度実績				平成27年度計画												
生涯学習講座 ※受講者数は延べ人数	講座数	19	実施回数	46	受講者数	551	人	講座数	17	実施回数	35	受講者数	435	人	講座数	17	実施回数	35	受講者数	450	人
	これから始める方のためのスマートフォン体験講座	講座回数	10	受講者数	91	スマートフォン・タブレット講座	講座回数	8	受講者数	113	スマートフォン・タブレット講座	講座回数	8	受講者数	120						
	人生設計応援セミナー	講座回数	1	受講者数	14	キッズ・ジュニア新体操体験講座	講座回数	2	受講者数	40	キッズ・ジュニア新体操体験講座	講座回数	2	受講者数	40						
	キッズ・ジュニア新体操講座	講座回数	3	受講者数	64	やさしい帯結び講座	講座回数	2	受講者数	30	バスアートセラピー	講座回数	2	受講者数	40						
	ヒップホップダンス講座	講座回数	4	受講者数	89	オリジナルアロマキャンドル講座	講座回数	1	受講者数	14	おいしいコーヒーの入れ方講座	講座回数	2	受講者数	20						
	他15講座実施回数28回	講座回数	28	受講者数	293	他13講座実施	講座回数	18	受講者数	238	他13講座実施	講座回数	16	受講者数	180						
出前講座	講座回数	289	回	受講者数	14,890	人	講座回数	290	回	受講者数	17,951	人	講座回数	300	回	受講者数	18,000	人			
GCSL登録・派遣事業	登録数	87	人	活動状況	21	人	登録数	93	人	活動状況	5	人	登録数	90	人	活動状況	20	人			
文化振興事業(市文化協会への支援)	部門	20	団体	会員	2,381	人	部門	20	団体	会員	2,195	人	部門	20	団体	会員	2,400	人			
〃 (市民文化祭開催への支援)				参加者数	2,645	人				参加者数	2,429	人				参加者数	2,500	人			
成人学級(家庭教育学級)	学級数	1	開設数	7	受講者数	151	人	学級数	1	開設数	8	受講者数	208	人	学級数	1	開設数	8	受講者数	400	人
〃 (女性学級)	学級数	3	開設数	26	受講者数	885	人	学級数	3	開設数	27	受講者数	835	人	学級数	3	開設数	26	受講者数	860	人
〃 (高齢者学級)	学級数	6	開設数	60	受講者数	2,819	人	学級数	6	開設数	59	受講者数	3,713	人	学級数	7	開設数	63	受講者数	4,510	人

2 学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進

項目	平成25年度実績				平成26年度実績				平成27年度計画													
学校開放講座	4校	各3回	受講者数	203	人	4校	各3~6回	受講者数	298	人	4校	各3回	受講者数	180	人							
東三河連携講座	(5市2町7講座)当市1講座 37人				(5市2町7講座)当市1講座 39人				(5市2町7講座)当市1講座 50人													
愛大市民教養講座	講座回数	0	回	受講者数	0	人	講座回数	2	回	受講者数	50	人	講座回数	2	回	受講者数	100	人				
各種団体との連携	蒲郡市子ども会連絡協議会				スポーツ大会 500人				スポーツ大会 500人				スポーツ大会 500人									
	※平成25年度は50周年記念事業				青空まつり 1,000人				青空まつり 500人				青空まつり 500人									
	青少年少女発明クラブ	小学生	4年	18	5年	12	6年	10	小学生	4年	17	5年	15	6年	9	小学生	4年	8	5年	11	6年	14
		中学生	1年	0	2年	3	3年	1	中学生	1年	0	2年	1	3年	2	中学生	1年	2	2年	0	3年	0
		講座回数	12	回	参加者数	44	人	講座回数	13	回	参加者数	44	人	講座回数	13	回	参加者数	35	人			
	親子ふれあいひろば	前期	10	回	参加者数	60	人	前期	10	回	参加者数	60	人	前期	10	回	参加者数	60	人			
		後期	10	回	参加者数	60	人	後期	10	回	参加者数	60	人	後期	10	回	参加者数	60	人			
幼児教室	講座回数	2	回	参加者数	69	人	講座回数	2	回	参加者数	140	人	講座回数	2	回	参加者数	120	人				
図書館と共催講演会																						

3 公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流

項目	平成25年度実績			平成26年度実績			平成27年度計画		
	実施館	参加者数		実施館	参加者数		実施館	参加者数	
公民館・地域との連携事業（公民館まつり）	10 館	12,557 人		11 館	10,978 人		11 館	12,640 人	
公民館生涯学習講座	開設数 45	延べ 1,100 人 定員数	参加者数 780 人	開設数 46	延べ 1,100 人 定員数	参加者数 793 人	開設数 39	延べ 1,100 人 定員数	参加者数 1,100 人
〃（地域体育祭）	開催数 6 館		参加者数 9,420 人	開催数 8 館		参加者数 12,547 人	開催数 8 館		参加者数 13,750 人
〃（子ども向け教室・講座）	開設数 46 数		参加者数 17,333 人	開設数 31 数		参加者数 2,289 人	開設数 35 数		参加者数 3,000 人

※子供向け教室・講座について、平成26年度以降は、クラブ・サークルを除いた数値

4 学習活動からまちづくりへの展開

項目	平成25年度実績			平成26年度実績			平成27年度計画		
	夏(1泊2日キャンプ)	参加者数		夏(1泊2日キャンプ)	参加者数		夏(1泊2日キャンプ)	参加者数	
蒲郡子ども交流体験活動	夏(1泊2日キャンプ)	79 人		夏(1泊2日キャンプ)	86 人		夏(1泊2日キャンプ)	85 人	
	冬(1日体験)	74 人		冬(1日体験)	66 人		冬(1日体験)	75 人	
蒲郡俊成短歌大会	投稿者数 県内 313 県外 243	556 人		投稿者数 県内 346 県外 292	638 人		投稿者数 県内 382 県外 382	764 人	
公民館事業全般	市内11公民館事業 延べ参加者数	272,023 人		市内11公民館事業 延べ参加者数	280,587 人		市内11公民館事業 延べ参加者数	287,000 人	

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
生涯学習講座の開設状況 〔講座数/実施回数/参加率〕	目標値	18講座/45回/100%	15講座/27回/100%	15講座/30回/100%	20講座/50回/100%
	実績値	19講座/46回/73%	17講座/35回/76%		平成32年度
親子ふれあい広場・幼児教室 の開設状況 〔講座数/実施回数/参加率〕	目標値	4講座/22回/100%	4講座/22回/100%	4講座/22回/100%	6講座/24回/100%
	実績値	4講座/22回/100%	4講座/22回/100%		平成32年度
公民館生涯学習講座の参加状況 〔参加者数/参加率〕	目標値	1,100人/100%	1,100人/100%	1,100人/100%	1,100人/100%
	実績値	780人/71%	793人/72%		平成32年度
一人あたりの公民館事業全般 への年間参加回数	目標値	3.5 回	3.6 回	3.6 回	4.0 回
	実績値	3.4 回	3.5 回		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
生涯学習講座の開設状況	開設講座数、実施回数、参加率(定員充足率)。学習機会のシーズとニーズのマッチング度を測る。
親子ふれあい広場・幼児教室 の開設状況	開設講座数、実施回数、参加率(定員充足率)。子育て世代の親・子の社会参加機会の充足率を測る。
公民館生涯学習講座の開設 状況	参加者数、参加率(実参加率)。地域における生涯学習活動への関心度と地域住民ニーズの充足率を測る。
一人あたりの公民館事業全般 への年間参加回数	延べ参加者数/蒲郡市の人口。公民館活動および地域活動への関心度を測る。

◆指標の分析

<p>「自発的な生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座は幅広い世代の市民の生涯学習ニーズに対応できるように講座数・講座内容等の充実が図られつつある。 全体の参加率を見ると、延べ人数ではあるが、蒲郡市民の1/4の人たちが参加している。参加率が大きく伸びないのは、少子高齢化や長引く不況の影響があると考えられる。また文化協会は会員の高齢化が進み、会員数が少しずつ減少しつつある。 <p>「学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数にほとんど変化がなく、参加者が固定化されている。 家庭教育推進事業の柱となる親子ふれあい広場・幼児教室は、定員いっぱいの参加状況が続きニーズが高い。 <p>「公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、公民館が所在する地域の多くの人たちに利用されている。他にも、地域に在住する大学のOBの先生たちのグループや公民館利用者を講師に迎え、子ども教室を開催し多くの子どもたちが参加している。地域で子どもを見守り育てている。 <p>「学習活動からまちづくりへの展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点施設である公民館での事業への参加率の増加を図ることで、地域におけるまちづくりへの積極的な参加が期待できる。 子ども交流体験活動は、子ども同士(小学生)や異世代(高校生ボランティア・青年リーダー等)との交流機会を提供することで、青少年の健全育成を図り、子どもたちの人間関係を築く力(人間力)を育成することを目的としており、小学生参加者が高校生ボランティアとして、高校生ボランティアが青年リーダーとして、活動を継続していくサイクルが出来つつある。また、近隣市での取り組みがほとんどないこともあり、県内外からボランティア活動の場を求める青年リーダーにとっても貴重な経験を磨く場となっている。 俊成短歌大会は、市文化協会短歌部会の会員や著名選者の先生方など市内外からの強力な人力により大会の運営が支えられている。また平成24年度からは、他の短歌大会(他県)とタイアップを試みるなどした結果、県外からの初投稿者が大幅にアップし、当市の知名度向上にも寄与していると思われる。
--

◆今後の方針

施策の課題	<p>「自発的な生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座は、時代の流れに応じた幅広い世代の市民の生涯学習ニーズに常に対応できるように、講座内容、講師の確保を図る必要がある。 新たなGCSLの登録者の確保とともに、GCSL制度の利用者を増やし、制度の活性化を図る方策を考える必要がある。 <p>「学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加を図るための講座内容の充実と、活動の補助をしてくれるボランティアの確保をどのようにするかが課題である。 <p>「公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館利用者は、固定化の傾向にあり、新規利用者(特に若年層)の獲得が必要である。しかしながら、固定化された利用者の中に入りにくいという声や、趣味趣向が多様化している中、昭和40年・50年代の建物での活動に抵抗感があってか、単に公民館の努力(事業内容・取り組み)だけでは非常に厳しい面がある。また、蒲郡市の公民館の特性として、社会教育施設というよりは、地域の行事を引き受けている(引き受けざるをえない)地区公民館という色が濃く、地域と非常に強い結びつきがあるという良い面がある一方で、職員のマンパワーが地元行事に割かれるなど、生涯学習事業を行う上では負担となっている面もある。 <p>「学習活動からまちづくりへの展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども交流は、市外の青年ボランティアの協力で成り立っている。蒲郡市内の青年リーダーの人材も少しずつであるが育ちつつあるが、この事業を一過性のものでなく長く続けていくことが人材育成に繋がると考える。 俊成短歌大会は、著名な選者の方たちのご協力だけでなく、文化協会短歌部会の方たちの協力も大である。しかし、現在、応募作品の校正をお願いしている短歌部会員の高齢化が大会運営に影響を及ぼし始めている。
-------	--

今後の施策展開	<p>「自発的な生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に対するニーズ把握を的確に行うための情報収集および、参加しやすい講座の実施・運営に努めていく。 GCSLの登録者及びその利用者の需要と供給のバランスを検討し、効率の良い利用方法を考える時期にある。登録者の活動内容、GCSLとしての活動状況など具体的な情報を発信し、利用者がより活用しやすくなる情報提供に努めていく。また、現在協力体制にある施設や講師との連携強化と講座内容の充実にも努め、尚且つ、新たな協力者を探すことも重要である。 <p>「学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、親子ふれあい広場や幼児教室などの際に託児に協力していただいている子育てネットワーク等ボランティアの確保が重要である。現在、ボランティアの養成は、愛知県などが実施する養成講座を利用している。今後も継続してこのような講座が開催されるとは考えにくく、将来的には、質の良いボランティアの確保には、自前でのボランティアのスキルアップのための教養講座等を行う必要がある。 <p>「公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公民館＝高齢者が利用」ではなく、「公民館＝地域コミュニティ」であることをもって地域に発信し、地域の人達が気楽に集えるような利用方法を提案する。しかし、将来的には、施設の老朽化を考え、公共施設の整備・見直しが必要となる。 <p>「学習活動からまちづくりへの展開」</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い体験型の講座の提案と、その体験型講座を行うためのボランティアの確保、受講者の体験を生かすための場所や交流の場の提供、それらを円滑に行うための恒久的な予算措置が必要である。また体験活動や公民館事業への参加者が持つ活動意欲をまちづくりに生かしていけるように、地域活動などにも継続的な関心を持ってもらうことが大切である。
---------	--

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	<p>生涯学習活動を推進する上では学習機会の充実と活動場所の充実が重要だと考える。学習機会の充実の観点から生涯学習講座に関しては、例年2～3講座であったものを平成25年度は19講座、平成26年度は17講座開催した。時代の流れを捉えた多くの講座開催は大きな前進だと評価しているとともに、継続していくことが重要だと考える。活動場所の充実に関しては、生涯学習計画において、拠点施設の建設をうたっているが、現在の財政状況等を考慮すると早期の建設は難しい。そのため、既存の施設を利用した再検討が必要となる。</p> <p>また、生涯学習推進の指針である生涯学習計画が、平成26年度で計画期間が終了したため、平成27年度以降の市の方針・方向性を明確にするため現在検討している。</p>

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	<p>多様化する生涯学習ニーズに対応するため、生涯学習講座を増やし学びの機会の充実を図ったことは評価できる。より充実した学びの機会を提供していくには、公民館、学校、地元関係団体・機関等に加え大学等の高等教育機関、民間企業・団体等とのこれまでも増した連携・協力、質の高いリーダー及びボランティアの養成も必要と考える。</p> <p>生涯学習の推進のためには市民が主体的に学習活動に取り組む機運の醸成が重要であり、誰もが使い易い学習・交流の場、学習ニーズを把握し学習に関するあらゆる情報が集約され、集約された情報の提供の場となる拠点施設の整備が必要であると考える。</p>